

第8回日本疲労学会 全体プログラム

第1日目 6月2日(土) 4F研究体育館

8:30～	受付
9:25～9:30	開会の辞
9:30～10:30	一般演題(1)
10:40～12:10	シンポジウム①「疲労の脳科学の最前線」 座長:渡辺 恭良、片岡 洋祐
12:10～13:10	昼休み 評議員会(4F特別会議室)
13:10～14:40	シンポジウム②「睡眠と疲労・健康」 座長: 稲葉 雅章
14:50～16:20	シンポジウム③「日本におけるCFSの現状と最近の知見」 座長:倉恒 弘彦、松本 美富士
16:30～17:30	一般演題(2)研究奨励賞候補演題
17:30～18:10	一般演題(3)
18:30～20:00	懇親会(2F大研修室)

第2日目 6月3日(日) 4F研究体育館

9:10～10:10	一般演題(4)
10:20～11:10	会長講演 川原 貴 「オリンピックとスポーツ医・科学」
11:10～12:00	特別講演 征矢 英昭 「運動と脳」
12:00～13:00	昼休み
13:00～13:30	日本疲労学会総会
13:30～15:00	シンポジウム④「スポーツと疲労・コンディショニング」 座長:川原 貴
15:10～16:40	シンポジウム⑤「医療従事者と慢性疲労」 座長: 酒井 一博
16:40	閉会の辞

○理事会 6月1日(金)17:30～19:00 4F特別会議室

シンポジウム①「疲労の脳科学の最前線」

座長: 渡辺 恭良、片岡洋祐(理化学研究所分子イメージング科学研究センター)

片淵俊彦(九州大学大学院・医学研究院・統合生理学分野)	免疫学的疲労モデル動物における脳内炎症機序
水野 敬(理化学研究所分子イメージング科学研究センター)	疲労と意欲の神経基盤
田中 雅彰(大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学)	慢性疲労の中枢神経系機構解明を目指した脳磁図研究
石井 聡(大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学)	脳磁図計測による疲労の中枢神経系メカニズムの解明

シンポジウム②「睡眠と疲労・健康」

座長: 稲葉 雅章(大阪市立大学医学部)

林田健一(スリープ&ストレスクリニック)	睡眠不足症候群と疲労・不健康感・QOL
篠邊 龍二郎(愛知医科大学睡眠科)	睡眠科受診患者での睡眠障害と疲労
庄司繁市(白鷺病院)	血液透析患者での睡眠障害と疲労 一疲労と生命予後との関連一
中富 康仁(大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学)	慢性疲労症候群患者での睡眠障害

シンポジウム③「日本におけるCFSの現状と最近の知見」

座長: 倉恒 弘彦(関西福祉科学大学健康福祉学部)、松本 美富士(桑名市総合医療センター内科・リュウマチ科)

福田 早苗(大阪市立大学大学院医学研究科)	慢性疲労症候群の実態調査
松本 美富士(桑名市総合医療センター内科・リュウマチ科)	線維筋痛症とCFS 最近の知見
田島 世貴(兵庫県立リハビリテーション中央病院)	小児CFSに関する概説と最近の知見

シンポジウム④「スポーツと疲労・コンディショニング」

座長: 川原 貴(国立スポーツ科学センター)

柳下 和慶(東京医科歯科大学)	高気圧酸素による外傷からの早期復帰とコンディショニング
伊藤要子(修文大学健康学部)	ヒートショックプロテインとストレス・疲労とコンディショニング
杉田正明(三重大学教育学部)	トップアスリートを対象とした医科学サポートのコンディションチェックについて
高橋英幸(国立スポーツ科学センター・スポーツ科学研究部)	MRIによる筋コンディションの評価

シンポジウム⑤「医療従事者と慢性疲労」

座長: 酒井 一博(労働科学研究所)

池上 徹(ITIエルゴコンサルタンシー)	今日的な労働と疲労構造 一厚労科研「労働者の慢性疲労に関する疫学的調査」調査結果を基にして一
三木明子(筑波大学・医学医療系)	看護師の疲労を生み出す労働環境の問題と今後の対策の方向性
和田耕治(北里大学医学部公衆衛生学)	医師の慢性疲労に関連する職業要因とその対策

一般演題リスト

セッション	番号	氏名	所属	演題名
1	OP1-1	田澤雄作	国立病院機構仙台医療センター小児科	蔓延する子どもの慢性疲労へその背景にあるもの
1	OP1-2	藤井比佐子	大阪市立大学大学院医学研究科	大学生における疲労と生活習慣に関する研究
1	OP1-3	松本 美富士	桑名市総合医療センター	プライマリケア医の慢性疲労症候群認知度の調査と患者数の推計
1	OP1-4	佐藤大介	宮城大学看護学部	東日本大震災支援者における疲労の適正評価について
1	OP1-5	大川尚子	関西福祉科学大学健康福祉学部	みどりの香りと抗疲労効果の科学的検証
1	OP1-6	白市 幸茂	シャープ株式会社	新開発LED照明における室内環境快適性および睡眠への有用性評価
2	OP2-1	山野 恵美	大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学	精神的ストレスに対する生体応答と気質の関連性:MEG研究
2	OP2-2	原田 暢善	産業技術総合研究所	従来のフリッカー値計測法が有する労働現場運用時の問題点の技術的克服の検討
2	OP2-3	山口 浩二	大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学	慢性疲労症候群患者の単純連続計算課題による疲労評価
2	OP2-4	福田早苗	大阪市立大学大学院医学研究科	慢性疲労症候群における還元型コエンザイムQ10の効果:摂取栄養素との関連を含めて
2	OP2-5	岡 孝和	九州大学大学院医学研究院心身医学	ストレス性高体温には発熱と同様、延髄縫線核領域ニューロンが関与する
2	OP2-6	岩脇 隆夫	群馬大学先端科学研究指導者育成ユニット	酸化ストレス可視化モデルマウスの開発
3	OP3-1	安井正佐也	名古屋大学大学院 医学研究科 機能形態学分野 機能組織学講座	疲労モデルラットにおける機械性痛覚過敏の解析
3	OP3-2	時實恭平	名古屋大学大学院 医学研究科 機能形態学分野 機能組織学講座	持続性複合的ストレス負荷ラット下垂体におけるVGF (nerve growth factor inducible)の発現動態の解析
3	OP3-3	井福 正隆	九州大学大学院医学研究院 統合生理学分野	免疫学的疲労モデル動物における学習記憶障害メカニズム
3	OP3-4	江藤みちる	三重大学大学院 医学系研究科 発生再生医学	水浸によるラット慢性ストレス負荷時のストレス呼応新規神経ペプチド・マンセリンの発現動態
4	OP4-1	杉野友啓	株式会社総合医科学研究所	日常生活疲労を対象としたヒト試験における自律神経機能評価の可能性
4	OP4-2	渋谷文那	横浜国立大学 大学院工学府	歯科治療における心拍変動の周波数成分とストレス応答
4	OP4-3	安藤弘輝	横浜国立大学 大学院工学府	高速道路運転における心拍変動の周波数成分と最強ストレスサー
4	OP4-4	三羽 邦久	ミワ内科クリニック	立位維持困難時の血行動態から検討した起立不耐症と体位性起立頻拍症候群(POTS)との関係
4	OP4-5	三羽 邦久	ミワ内科クリニック	起立不耐症と筋痛性脳脊髄炎との関係について
4	OP4-6	班目 健夫	青山・まだらめクリニック	薬物治療中断で急速に改善した線維筋痛症合併慢性疲労症候群の1症例